



## 半期ディスクロージャー誌の発行にあたって

皆様には、平素より格別のご支援とご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

今般、令和元年9月期の決算状況につきましてご報告いたします。

業績としましては、譲渡性預金を含む預金残高128,897百万円(前年同月比▲855百万円、▲0.65%の減少)、貸出金残高64,444百万円(前年同月比4,702百万円、7.87%の増加)となり、収益につきましては当期純利益205百万円(前年同月比23百万円、13.02%の増益)となりました。

自己資本比率につきましては9.93%(前年同月比▲0.06%の低下)となっております。

金融環境、地域経済とも厳しい状況が続いておりますが、当金庫は地域金融機関として、経営の健全性、透明性の確保を基本にその社会的使命を果たし、会員をはじめとする地域の中小企業や住民の方々から高い信頼をいただくよう役職員一丸となって努めてまいります。

今後ともなお一層のご支援とご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

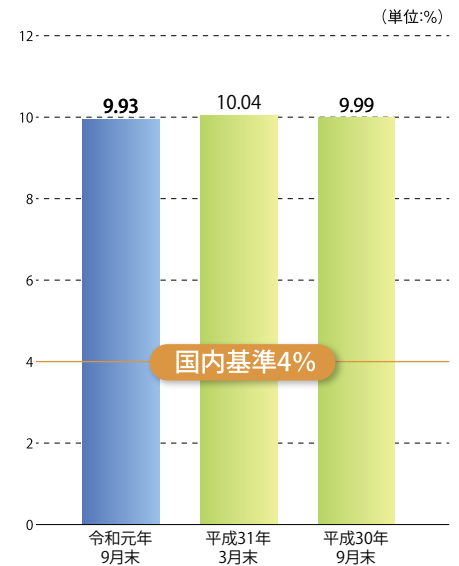
(注)

1. 半期開示情報については、監査法人による監査を受けておりません。
2. 半期開示情報については、当金庫の任意の情報として開示しております。
3. 半期開示情報については、当金庫のホームページでもご覧になれます。

### 自己資本比率の状況

項目	令和元年9月末	平成31年3月末	平成30年9月末
自己資本の額	5,750	5,580	5,495
コア資本に係る基礎項目の額	5,891	5,712	5,625
普通出資又は非累積的永久優先出資に係る会員勘定の額	5,739	5,531	5,555
コア資本に係る基礎項目の額に算入される引当金の額	152	181	69
コア資本に係る調整項目の額	141	131	129
リスク・アセット等の額の合計額	57,858	55,584	54,996
資産(オン・バランス)項目	54,501	52,436	52,030
オフ・バランス取引項目	608	399	251
オペレーショナル・リスク相当額の合計額を8%で除して得た額	2,748	2,748	2,715
自己資本比率	9.93%	10.04%	9.99%

総所要自己資本額	2,314	2,223	2,199
信用リスクに対する所要自己資本の額	2,204	2,113	2,091
オペレーショナル・リスクに対する所要自己資本の額	109	109	108



自己資本比率算出のための引当金等の計算については以下の方法により算出しています。

1. 一般貸倒引当金は前期末予想損失率を使用し債権残高は9月末基準日の自己査定による債務者区分毎の残高としております。
2. 個別貸倒引当金は9月末基準日の自己査定による債務者区分(破綻先・実質破綻先・破綻懸念先)により個別に計算しております。  
・信用部分の計算は担保及び保証等による調整を行っております。
3. その他の引当金については本決算に準じた処理とし、9月末時点で算出した必要額を引当てております。

(注)自己資本比率の算出方法を定めた「信用金庫法第89条1項において準用する銀行法第14条の2の規定に基づき、信用金庫及び信用金庫連合会がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準(平成18年金融庁告示第21号)」に基づき算出しております。

なお、当金庫は国内基準を採用しております。